



# ひらかわ

# 市議会だより

平成25年  
12月定例会

## 第33号

平成26年4月15日発行



碓ヶ関中央保育園  
恵方巻き作りの様子

### 目次

◆平成25年第4回(12月)定例会(概要)	2
(審議した議案)	3~5
◆議決一覧表	6~7
◆市政に関する一般質問より(8議員)	8~12
◆平成26年第1回(2月)臨時会	13
◆所管事務調査報告(教育民生常任委員会)	14
◆議会を傍聴しませんか	15
◆議会の動き・編集室から	16

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988

平川市ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：[gikai@city.hirakawa.lg.jp](mailto:gikai@city.hirakawa.lg.jp)

# 第4回 (12月) 定例会

平成25年第4回平川市議会定例会は、12月5日から13日までの9日間を会期として開催されました。

本定例会では、条例案1件、条例改正案5件、財産の取得1件、指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間3件、平成25年度補正予算案7件、規約の変更1件、報告2件、最終日に提出された議員提出議案1件の合わせて21件が上程されました。

これらを慎重に審議した結果、全ての議案が原案可決、承認となりました。



## 【会期日程】

- 12月5日(木) 本会議
- 12月6日(金) (議案熟考のため休会)
- 12月7日(土) 休会
- 12月8日(日) 休会
- 12月9日(月) 常任委員会
- 12月10日(火) 本会議(一般質問1日目)
- 12月11日(水) 本会議(一般質問2日目)
- 12月12日(木) (議事整理のため休会)
- 12月13日(金) 本会議

# 審議した議案

（※質疑内容は要約し、抜粋して掲載しています。）

## 条例案・条例改正案

### ●平川市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案

（平成25年12月13日から施行）

後期高齢者医療保険料の延滞金について、平川市税条例の例により計算した金額に改めるため、所要の整備を行うため。

### ●平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案

（平成25年12月13日から施行）

用語の意義及び固定資産税の課税免除期間を改めるため。

#### 質 疑

**問** 合併時に3年とした課税免除期間を5年にする理由は何か。

**答** 近年の地方における雇用率低下と周辺地域では5年とする傾向が多くなっていること、企業の誘致に対する取り組みを厚くしたいためである。

### ●平川市営住宅管理条例の一部を改正する条例案

（平成26年1月3日から施行）

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正に伴い、入居者の資格を改めるため。

#### 質 疑

**問** 平川市内で配偶者からの暴力行為による事例は何かあるのか。

**答** 過去に1件確認している。

### ●平川市水道事業給水条例の一部を改正する条例案

（平成26年4月1日から施行）

消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、水道料金及びメーター使用料を改めるため。

#### 反対討論あり

赤ちゃんから高齢者のだれもが毎日恩恵を受けている命の水。食料品などに対する軽減税率の議論もされているが、命の水にこそ、すぐに対応しなければならないものである。今回の増税により毎日の暮らしに大きな影響を与えるため反対する。

#### 賛成討論あり

消費税が増額されるための料金改正であり、上水道企業会計の健全な運営を図るための改正案であることから賛成する。

### ●平川市下水道条例の一部を改正する条例案

（平成26年4月1日から施行）

消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、下水道使用料を改めるため。

#### 反対討論あり

平川市水道事業給水条例の一部を改正する条例案同様、消費税増税に反対する。

#### 賛成討論あり

消費税が増額されるための料金改正であり、下水道企業会計の健全な運営を図るための改正案であることから賛成する。

### ●平川市工場立地法地域準則条例案

（平成25年12月13日から施行）

工場立地に関する緑地面積率等の準則を定めるため。

#### 質 疑

**問** 緑地面積率が変更となった理由は何か。

**答** 工場立地法によって規制されている企業の敷地面積や建物面積に対する緑地面積率が、準則条例を市町村が定めることにより数値を緩和されるため。

## 補正予算

### 一般会計

歳入歳出予算総額にそれぞれ6億3,939万3,000円を追加し、総額を180億7,113万3,000円とする。

#### 質疑

**問** 古懸不動野線道路改築事業が繰越明許となる理由は。

**答** 国受託工事について国土交通省側で入札を2回行ったが不調で終わったため、今年度内の完成が見込めなくなったため。

### 平川市国民健康保険特別会計

歳入歳出予算総額に1億9,338万7,000円を追加し、総額を43億7,861万円とする。

### 介護保険特別会計

歳入歳出予算総額に7,303万9,000円を追加し、総額を35億7,963万4,000円とする。

### 後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ839万4,000円を追加し、総額を2億6,551万2,000円とする。

### 国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

歳入歳出予算総額から83万円を減額し、総額を7億4,692万3,000円とする。

#### 質疑

**問** 碓ヶ関診療所におけるレントゲン検査体制と安全対策について。

**答** 検査は看護師3人の準備等の補助のもと医師が行っており、安全対策として1カ月1回の放射線検査と年2回のレントゲン室のエックス線漏れ検査を行い、適正な実施に努めている。

**問** 3月末で閉鎖する現在の平川診療所の重油処理はどうか。

**答** 閉鎖後に地下タンクに残った重油は吸い上げて、他の市有施設で使用する。

### 学校給食センター特別会計

歳入歳出それぞれ323万2,000円を追加し、総額を3億4,874万7,000円とする。

#### 質疑

**問** 増額となった賃金の根拠について。

**答** 日額賃金職員の長期病気休暇による欠員を補充するためのものである。

### 下水道事業会計

電気料金の値上げ等により電気使用料に不足が生じること、新築住宅増加に伴い汚水桝設置工事費に不足が生じること、平成24年度借入起債について当初償還期間を短縮することに伴い、当年償還金に不足が生じることから、それぞれ補正する。

## その他

### ●財産の取得について

平川診療所医療備品一式を取得するため。

#### 質疑

**問** CTシステムの耐用年数は。

**答** 耐用年数は10年で、平川診療所で現在使用している機器もおおむね10年経過している。

### ●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

平成26年4月1日から構成団体として弘前地区消防事務組合を加入させることに伴い関係地方公共団体と協議する必要があるため。

## 指定管理者の指定及び 指定管理者の管理の期間

### ●平川市四季の蔵「もてなしロマン館」の指定 管理者の指定及び指定管理者の管理の期間に ついて

#### 質 疑

**問** 指定管理をするにあたり、建物修繕内容について  
の要望等はないのか。

**答** 市の指定管理の要綱に基づき、修繕等を行って  
いる。

### ●平川市古懸コミュニティ浴場の指定管理者の 指定及び指定管理者の管理の期間について

#### 質 疑

**問** 指定管理料だけでは機械の故障時の対応がで  
きな  
いのではないか。

**答** 多額の修繕費がかかるものについては、市と協  
議  
のうえ対応していく。

### ●平川市久吉たけのご温泉の指定管理者の指定 及び指定管理者の管理の期間について

#### 質 疑

**問** 指定管理料について。

**答** 年間200万円を予定している。

### 指定管理者の指定及び指定管理の期間一覧表

施設名称	指定管理者	期間
平川市四季の蔵 「もてなしロマン館」	特定非営利活動法人 めーりんごネット	平成26年4月1日 ～平成29年3月31日
平川市古懸コミュニティ浴場	古懸町内会	〃
平川市久吉たけのご温泉	久吉地区町会	〃



四季の蔵  
「もてなしロマン館」



古懸コミュニティ浴場



久吉たけのご温泉

平成 25 年  
(12月議会)

## 第4回 定例会議決一覧表

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常 任 委 員 会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
<b>【条例案・条例改正案】</b>						
136	平川市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
137	平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案	原案可決		建設経済	原案可決	
138	平川市営住宅管理条例の一部を改正する条例案	原案可決		建設経済	原案可決	
139	平川市水道事業給水条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	建設経済	原案可決	挙手採決
140	平川市下水道条例の一部を改正する条例案	原案可決	起立採決	建設経済	原案可決	挙手採決
141	平川市工場立地法地域準則条例案	原案可決		建設経済	原案可決	
<b>【そ の 他】</b>						
142	財産の取得について	原案可決		総務企画	原案可決	
153	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
<b>【指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について】</b>						
143	平川市四季の蔵「もてなしロマン館」の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		建設経済	原案可決	
144	平川市古懸コミュニティ浴場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		総務企画	原案可決	
145	平川市久吉たけのご温泉の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		総務企画	原案可決	挙手採決
<b>【補正予算案】</b>						
146	平成 25 年度平川市一般会計補正予算案 (第 5 号)	原案可決		総務企画	原案可決	
147	平成 25 年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案 (第 2 号)	原案可決		教育民生	原案可決	
148	平成 25 年度平川市介護保険特別会計補正予算案 (第 2 号)	原案可決		教育民生	原案可決	
149	平成 25 年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算案 (第 1 号)	原案可決		教育民生	原案可決	
150	平成 25 年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案 (第 2 号)	原案可決		教育民生	原案可決	
151	平成 25 年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案 (第 2 号)	原案可決		教育民生	原案可決	
152	平成 25 年度平川市下水道事業会計補正予算案 (第 3 号)	原案可決		建設経済	原案可決	
<b>【報 告】</b>						
13	専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについて					
	・専決第 14 号 平成 25 年度平川市一般会計補正予算 (第 4 号)	原案承認				
	・専決第 15 号 平成 25 年度平川市下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	原案承認				
14	・専決第 16 号 平成 25 年度平川市広船財産区一般会計補正予算 (第 1 号)	原案承認				
	専決処分した事項の報告について					
	・専決第 17 号 損害賠償額の決定について					
<b>【議員派遣】</b>						
5	議員の派遣について	原案可決				

平成 26 年  
(2 月開催)

# 第 1 回 臨時会議決一覧表

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常任委員会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
<b>【人事案件】</b>						
1	平川市副市長の選任について	原案同意				
2	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意				
3	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意				
4	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意				
5	平川市監査委員の選任について	原案同意				
<b>【そ の 他】</b>						
6	農地及び農業用施設災害復旧事業の施行について	原案可決				
<b>【報 告】</b>						
1	専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについて					
	・ 専決第 1 号 平成 25 年度平川市一般会計補正予算 (第 6 号)		原案承認			



平成 26 年第 1 回臨時会の様子  
(平成 26 年 2 月 26 日)

# 市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成25年 第4回(12月)定例会 一般質問傍聴席

※12月議会では24名の方が傍聴されました

## 1. 古川 敏夫 議員 (一括質問方式)

1. 福祉行政について
2. 地域活性化事業について

## 2. 石田 隆芳 議員 (一括質問方式)

1. 市道岩館猿賀線の防雪柵について

## 3. 對馬 實 議員 (一括質問方式)

1. 耐震について
2. 教育問題について

## 4. 工藤 竹雄 議員 (一括質問方式)

1. 台風18号の豪雨による最終被害状況について
2. 雪害の実態について

## 5. 今 俊一 議員 (一括質問方式)

1. 市内企業の動向について
2. 学校給食センターの運営について

## 6. 齋藤 政子 議員 (一括質問方式)

1. 台風18号の被災者への周知について
2. 「産直センターひらかパンフレット」について

## 7. 福土恵美子 議員 (一括質問方式)

1. 職員の勤務体制について
2. 台風18号の豪雨について
3. 新平川診療所開業について

## 8. 齋藤 律子 議員 (一問一答方式)

1. 介護保険制度について
2. 食育と市民の健康増進について
3. 子どもの医療費給付対策の拡充について
4. 平川市地域防災計画について



古川 敏夫 議員

## 1. 福祉行政について

**問** 健康づくりの推進について。平川市ではどのような事業を展開し、どのように評価しているのか。

**答** 乳児健診などの母子保健事業、がん検診などの健診事業、栄養教室などの栄養教育事業など、それぞれのライフステージに対応した事業。圏域の医療機関と連携した個別検診実施、保健協力員や食生活改善推進員と連携した健康づくりなど市民の健康増進に大きく寄与している事業を展開している。いつまでも自分らしく、自立した生活をおくるための施策の強化に努めたい。

## 2. 平川市地域活性化案について

**問** ①平川市のご当地グルメの開発。インパクトのある食観光を期待するが、何らかの対策を進めているのか。

②ひらかわフェスタの出店条件緩和について。出店対象を市内のみとせず、市外の業者も参加させてはどうか。



ひらかわフェスタ

**答** ①ご当地グルメ開発は関係団体による自発的な取り組みが必要である。商工会等が中心となり開発する団体が発足し、取り組むことになれば市でも協力したい。

②フェスタの目的は、平川市産農産物等の消費を拡大する地産地消の促進であるが、より多くの市内生産者等が参加できるように実行委員会にはたらきかけたい。

## 1. 市道岩館猿賀線の防雪柵について

**問** ①未使用になった経緯について。

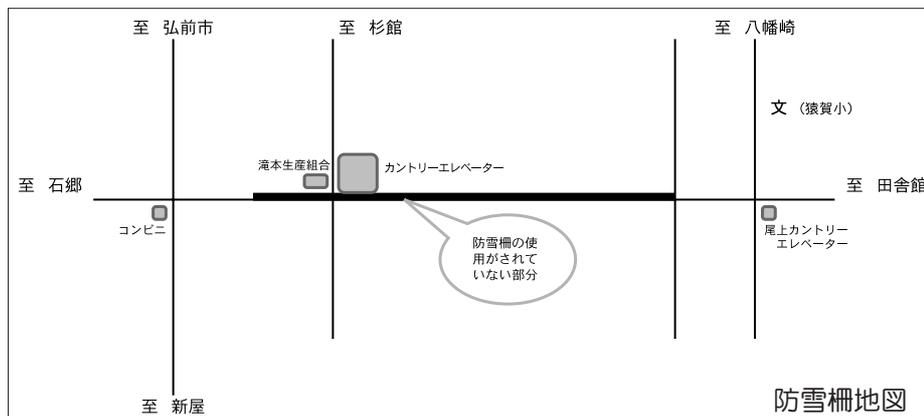
②使用に対する今後の計画について。



石田 隆芳 議員

**答** ①当初は防雪柵を設置していたが、その後暖冬小雪だったこともあり、現在は尾上地域の長田町会から県道尾上日沼線までの通学路を毎年設置している。

②吹きだまり箇所や気象条件などを調査のうえ、今後の設置計画の見直しを前向きに検討せざるを得ないと考えている。





對馬 實 議員

## 1. 各地域の公共施設の耐震について

**問** 公共施設の多くは、災害発生時、地域住民の避難場所であり、自主防災組織活動の拠点となっているが、高度経済成長時に整備されたものが多く老朽化が進んでいる。新建築基準法による調査未実施施設について、今後どのようにしていくのか。

**答** 新建築基準法施行の昭和56年度以前に建設された集会施設は、町会の意見を聞きながら老朽化対策と合わせて診断及び改修を進めていきたい。

## 2. いじめや体罰について

**問** 現状及び問題点、いじめ防止対策推進法について当市の指導方針をしめせ。

**答** 平成25年10月末現在で、いじめ認知件数は小学校10件、中学校12件である。冷やかす・からかい・悪口等がほとんどで学校でも実態を把握しており、適切に対応し解決しているが、スマートフォンやパソコンによるパスワード等を設定したブログ等はパトロールできないため、水面下での言葉によるいじめが大変心配である。

いじめ防止対策推進法は、各学校がいじめ防止基本方針を策定し、いじめ防止等の対策のための組織を設置することとしている。



工藤 竹雄 議員

## 1. 台風18号の豪雨による最終被害状況について

**問** ①農業関係の被害面積及び被害額など。  
②道路・河川関係の被災概要・被災額など。  
③激甚災害に指定されたのか。また、その内容について。  
④引座川氾濫の原因と日沼地区の水害の現状について。

**答** ①農作物被害は、水稲66.2ヘクタール、リンゴ5.6ヘクタール、大豆6ヘクタールで、被害総額は5,017万円。農地・農業用施設被害は、農地の被害面積約22.7ヘクタール、農業用施設被害87箇所、被害総額は4億7,450万円となっている。

②全体合計で河川18件、道路159件の合計177件で2億3,706万6,000円の被害額となっている。

③内閣府では平成25年10月9日に激甚災害に関する法律を公布・施行し、農地、農業用施設などの通常国庫補助率をかき上げするものである。

④短時間の雨量増が最大の原因である。河川内の支障木については管理強化にさらに努めるよう県に要望を続けたい。

## 2. 雪害の実態について

**問** 11月中旬の大雪の被害調査の結果はどうなのか。

**答** ふじの収穫期と重なり、葉が多く残っていたため枝折れや裂開被害があったが、大きな被害は見受けられなかった。また、凍害についても発生は見られなかったようである。



豪雨により増水した引座川の様子



今 俊一 議員

## 1. 市内企業の動向について

- 問** ①市内企業からの税収について。  
②市内企業に対する支援対策について。

**答** ①市内に事業所を有し収益事業を行う事業者からは、法人市民税を納めていただいている。平成24年度決算における課税対象事業者は全体で377社あり、調停総額は1億1,769万9,000円である。リーマンショックにより企業の減収・減益による税収の伸び悩みが続いていたが、24年度あたりから回復の動きが現れはじめているものの、まだ、リーマンショック前の6割程度までしか回復していない。

②市単独制度として、特別保証制度、利子助成制度、障がい者雇用奨励金がある。また、工場等設置促進条例により基準を満たす指定企業には固定資産の課税免除等の制度がある。

## 2. 学校給食センターの運営について



平賀学校給食センター

- 問** ①統合について計画の変更はあるのか。  
②アレルギー対応調理室の設置について。

**答** ①平賀学校給食センターの調理可能食数が2,500食であるので、1日当たりの給食数見込みが2,500食以下となる平成30年度を目途に統合の検討を進めている。

②アレルギー対応調理室設置には、専門施設、専門職員が必要となり多額の費用を要するため、統合とあわせて検討したい。



齋藤 政子 議員

## 1. 台風18号の被災者への周知について

- 問** 災害地の確認、対応策決定と被災者への周知はどのようになっているのか。

**答** 9月20日に復旧が必要な被災農地について相談を受け付ける旨のお知らせをしつつ、10月中旬以降まで1,000箇所以上の被災現場を確認に回った。工事費の概算額をだし、被災した方の負担率等についての問い合わせを11月中旬から下旬にかけて電話で本人の意向を確認した。

## 2. 「産直センターひらかパンフレット」について

- 問** 買い物客から問い合わせの多い、平川市内の直売所掲載のパンフレットの作成はできないか。

**答** 市内全域にある直売所のパンフレットを作成することを検討しており、現在は掲載内容等について協議し、26年度に2ページ程度のものをつくることを考えている。



平川市物産パンフレット



福土恵美子 議員



建設中の新平川診療所

### 1. 職員の勤務体制について

**問** 災害対策で過密業務が続く職場、職員への対策を講じたのか。

**答** 現場調査等、全庁体制で行っており、民間業者も使っているが災害規模が大きく手が足りない状況である。職員の健康と市民の生活の安全のため、バランスをとりながら頑張っていることを御理解いただきたい。

### 2. 台風 18 号の豪雨について

**問** 松崎河川広場と隣接農地のがれき等の撤去、施設利用再開はいつごろになるのか。

**答** 県の中南県民局砂防課では、漂流物等のごみ処理は 12 月中に終わりたいとのことであるが、施設等の修復については改めて市と協議して進めたいとのことである。

### 3. 新平川診療所開業について

**問** 調剤が院外処方となるため、診療所利用者の道路横断の安全確保はどのようになっているのか。また、院外処方による患者負担はどのようになるのか。

**答** 横断歩道の設置等、関係部署と検討しなければならないと考えている。院外処方により患者負担は 3 割から 5 割増える予定である。これは医療機関内での薬剤師配置が経費等の面から難しいためである。



齋藤 律子 議員



### 1. 65 歳以上の人の介護保険料の所得段階の見直しについて

**問** 所得に応じた介護保険料の段階を細分化を進めるべきではないか。

**答** 国の動向を注視し、次期計画の策定については保険料の段階設定について検討していきたい。

### 2. 食育と市民の健康増進について

**問** 学校教育における食育実施と保健指導員制度について

**答** 小和森小で「弁当の日」を設け親子で食について考える機会をもっているほか、各学校の調理器具の整備を行った。廃校を利用した農業学校実施は検討していきたい。長野県で組織されているような保健指導員制度の当市導入は困難である。

### 3. 満 18 歳までの医療費無料化について

**問** 市長 Manifesto の医療費給付対策拡充を通院・入院とも 18 歳まで無料化することはできないか。

**答** 4 歳から就学前までの一部負担を廃止して現物給付とし、新たに小学生から満 18 歳までの入院の医療費を助成したいと考えている。

### 4. 平川市地域防災計画について

**問** ①地域防災計画についての進捗状況について。

②平成 25 年 9 月の台風 18 号等の災害を教訓にきめ細かな見直しをすべきではないか。

**答** ①現在、修正案に対する市関係部局の意見集約及び反映作業を行っており、平成 26 年 3 月ごろには公表できるものと考えている。  
②過去に発生した災害情報の提供、地域の実情に合わせた防災訓練実施など、自主防災組織と連携しながら周知に努めたい。

# 平成26年第1回(2月)臨時会

## 長尾市政始動!



長尾忠行 市長

長尾忠行新市長の招集により、平成26年第1回平川市議会臨時会が2月26日開催されました。選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ、提出された人事案件5件については、原案にすべて同意し、長尾市長の新体制がスタートしました。

また、議案第6号農地及び農業用施設災害復旧事業の施行については原案可決、専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについては、平成25年度平川市一般会計補正予算(第6号)が承認されました。



### 副市長に古川洋文氏を選任

#### ●平川市副市長の選任について(原案同意)

住所：弘前市坂元  
昭和33年生

#### ●平川市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙の結果

##### ◆選挙管理委員

氏名	住所
内山久人	平川市唐竹苮原
小田原喜佐夫	平川市碓ヶ関
三浦光春	平川市松館井ノ上
佐藤正道	平川市金屋上松元

##### ◆選挙管理委員補充員

順位	氏名	住所
1位	大湯勝	平川市碓ヶ関古懸
2位	船木忠博	平川市新山松橋
3位	葛西弘	平川市新屋栄館
4位	丸山恵	平川市碓ヶ関鯨森

※補充員は選挙管理委員が欠けたときに1位から順に補充されるものです。

#### ●平川市教育委員会委員に

柴田 正人氏を同意 住所：青森市南佃 昭和27年生

葛西 万博氏を同意 住所：平川市小和森 昭和45年生

駒井 優子氏を同意 住所：平川市金屋 昭和50年生

#### ●平川市監査委員に

古川 敏明氏を同意 住所：平川市荒田 昭和25年生

#### ●農地及び農業用施設災害復旧事業の施行について(原案可決)

平成25年9月15日から平成25年9月16日にかけての平成25年発生台風第18号災害により被害を受けた、農地及び農業用施設災害復旧事業に関する土地改良事業を市営事業として施行する。

# 教育民生常任委員会

## 所管事務調査報告

### ●調査期日

平成 25 年 11 月 22 日（金）

### ●調査場所

平川市立中学校  
（尾上・碓ヶ関・平賀東・平賀西）

### ●調査目的

- ①中学校長の学校経営方針について
- ②学校施設状況について

### ●出席委員

對馬 實、今 俊一、小田桐信勝、  
福土恵美子、工藤 竹雄、佐々木利正

（計 6 名）

### ●欠席委員 なし

### ●説明者

各小学校校長又は教頭  
平川市教育委員会事務局長 芳賀 秀寿  
学校教育課学校管理係長 山口 佳紀

### ●委員長所管（要約）

5 月に新しく校長が赴任された小学校 7 校で、学校経営方針等についての所管事務調査を行ったことに引き続き、今回は市内 4 中学校の校長等より学校経営方針等と学校施設状況について調査を行った。

各中学校では、いずれも教師が一丸となり生徒の指導に取り組んでおり、学校内だけでなく、地域社会を巻き込んだ学校づくりを行い、地域住民への理解と協力を求めるとともに地域から愛され信頼される学校を目指していることがわかった。

市の発展のためには人づくり。

人づくりの基本は教育である。

多感な年齢である中学生の時間をより実りあるものとし、学校教職員の一層の努力を期待するとともに、我々も安心して学べる学習環境の確保に努力し、そのための施設整備などの予算確保に向け、市当局に働きかけていきたいと思う。



尾上中学校での施設調査の様子



碓ヶ関中学校での研修の様子

# 議場の見学をしませんか？

議会への理解を深めていただくことを目的とし、希望する団体に随時議場の見学受け入れとともに議会の役割について御説明しております。

一般の団体だけでなく、小学生・中学生の受け入れもしております。議場の見学を御希望の団体は、議会事務局まで御連絡ください。

なお、議会開催等により御希望の日時に沿えない場合もあります。



平成 24 . 2 大坊小 議場見学の様子

## 請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

### 【記入例】

平成 年 月 日
平川市議会議長（氏名） 殿
請願（陳情）者 住 所
氏 名
紹介議員 氏 名
印
印
〇〇〇に関する請願（陳情）書
【請願（陳情）の要旨】
【理 由】

## \* 議会の動き \*

### 平成 25 年

- |        |                                |     |   |
|--------|--------------------------------|-----|---|
| 12月 2日 | 議会広報特別委員会                      | 5日  | 平成 25 年度青森県市議会議長会第 3 回定期総会に議長、事務局長出席 (東京都)                              |
| 6日     | 中弘南黒平地区婦人団体研修会に議長出席            | 6日  | 平川市保育連絡協議会新年懇話会に副議長出席   |
| 7日     | 平川ねぶたまつり“冬の陣”開会式に議長ほか出席        | 〃日  | 国への要望活動に議長、事務局長出席 (国土交通省)   |
| 16日    | 黒石記者クラブ筆供養に副議長出席 (黒石市)         | 7日  | 第 27 回平賀はしご酒まつりに議長出席  |
| 17日    | 七戸茂男氏青森りんご勲章受章を祝う会に議長出席        | 11日 | 平成 25 年度平川市表彰条例及び平川市教育委員会表彰規則による表彰式に副議長出席                               |
| 22日    | 平川市立葛川小・中学校閉校式及び思い出を語る会に議長ほか出席 | 13日 | 平成 25 年度津軽南市町村議会連絡協議会第 2 回定期総会並びに津軽南市町村選出県議会議員との懇談会に議長、副議長、事務局長出席 (黒石市) |

### 平成 26 年

- |       |   |     |  |
|-------|---|-----|--|
| 1月 6日 | 平賀建築組合通常総会懇親会に建設経済常任委員長出席                     | 14日 | 議会広報特別委員会                                  |
| 〃日    | 市民新年を祝う会に議長ほか出席                               | 16日 | 平成 25 年度平川市青少年健全育成市民大会に議長出席                |
| 8日    | 平川市尾上職人組合通常総会懇親会に議長出席                         | 19日 | 叙勲・褒章受章合同祝賀会に議長ほか出席                        |
| 12日   | 平成 25 年度平川市成人式に議長ほか出席                         | 21日 | 平成 26 年第 1 回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席 (青森市) |
| 17日   | 平川市観光協会新年会に議長出席                               | 〃日  | おのえ企画『新酒まつり かつみ&幸平オンステージ』に議長出席             |
| 27日   | 平成 25 年度津軽南市町村議会連絡協議会第 2 回事務局長会議に事務局長出席 (黒石市) | 24日 | 議会運営委員会                                    |
| 2月 2日 | 平川市立小和森小学校創立 140 周年記念式典及び記念祝賀会に議長出席           | 26日 | 平成 26 年第 1 回臨時会                            |
| 4日    | 全国市議会共済会第 107 回代議員会に議長、事務局長出席 (東京都)           | 〃日  | 議会運営委員会                                    |
|       |   | 28日 | 議会広報特別委員会・図書室運営委員会                         |

# 議会を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話(0172)44-1111(内線1511)



※平成25年に行われた議会では、  
のべ111名の方が傍聴されました

### ◆◆ 編集室から ◆◆

・あなたにツキを呼び込む ちょっといい話・・・  
「腹が立ったら 10 まで数えよ。うんと腹が立ったら 100 まで数えよ」  
これは、アメリカ第 3 代大統領、ジェファーソンの言葉です。  
一時の腹立ちで感情をぶちまけると、結局は後悔が残ることになります。それよりも、時間をおいて理性で応えることが、何より得策といえるでしょう。

・これからの日本・青森県・平川市がどうかかわるのか？  
昭和 35 年 (1960)、自由民主党総裁・池田勇人が「高度経済成長政策や所得倍增計画」を打ち出した。そして昭和 39 年 (1964)、名神高速道路・羽田空港 - 浜松町間のモノレール開通、東海道新幹線営業開始・東京オリンピック開催・・・(私が 20 歳の時)  
2020 年には 56 年ぶりに 2 回目の東京五輪開催に向け、高度経済成長の伸びを期待したい。(工藤竹雄)